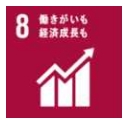


普及現地情報

発信年月日:令和6年(2024年)1月6日
所属名:大津・南部農産普及課
番号:A24015
発信者名:籠、柴田、大崎



集落営農法人の広域連携に向けた先進地視察研修を開催

大津市田上・上田上地域の大型区画ほ場整備済の4つの集落営農法人では、定期的に情報交換会を開催し、今後の営農継続に向け、広域連携も含め検討を進めてきました。しかし、近隣で広域連携のモデル事例も少なく、具体的なイメージもつかめなかったため、先進地視察研修を開催しました。

12月16日(月)に4つの集落営農法人の構成員16名と大津市役所、JAレーク滋賀などの関係機関が参加し、兵庫県神戸市神出町にある(農)神出アグリを訪問して、代表理事と事務局を担うJA神戸六甲の営農指導員から、連携法人の概要や設立の経緯をお話いただきました。

代表理事の「利益を追い求めると自然が守られない」「一つ一つを大切に、使えるものは皆が使う」といった発言には、地域で連携し、将来にわたり営農継続できる体制を整備することが、地域や自然を守ることにつながるという理念に満ちていました。

4つの集落営農法人でも構成員の高齢化に伴う人材不足により、将来的な営農継続に不安を抱えています。今回の視察研修は、地域の農地や自然を将来にわたって守るための広域連携の在り方を具体的にイメージできる機会となりました。

今回の研修を踏まえて、広域連携も含めた地域農業の在り方について、議論が深まるように支援を継続していきます。



視察研修風景